

4. センターだより

1. 情報メディアセンター運営会議報告

愛知大学情報メディアセンターは、情報メディアセンター運営会議を中心に運営を行っている。情報メディアセンター運営会議のもと、名古屋センター運営会議および豊橋センター運営会議をおき、それぞれ名古屋（車道メディアゾーンを含む）および豊橋情報メディアセンターの事業を推進する。

2006年4月から9月に開催された各運営会議の議事は次の通りである。

名古屋情報メディアセンター運営会議

2006年度

◇第1回 5月27日

1. 教育用ソフトウェアについて
2. 学生貸出用ノートPCのリプレースについて
3. 2006年度プレゼンテーションコンテストの開催について
4. メディアゾーンの開館について
5. 国際問題研究所客員研究員のアカウント申請について

報告事項

1. 2006年度名古屋情報メディアセンター関連の予算について
2. 実習室時間割について
3. 学生相談員の募集について
4. メディア教育開発室の内規について

◇第2回 6月27日

1. プレゼンテーションコンテストについて
2. スキャナの設置について

◇第3回 9月19日

1. 点検評価報告書案（情報メディアセンター）について
2. 法科大学院からの要望について
3. プレゼンテーションコンテストについて

報告事項

1. SPSSについて
2. 秋学期実習室利用について
3. 紀要「COM」について
4. その他

豊橋情報メディアセンター運営会議

2006年度

◇第1回 6月1日

1. 2006年度情報活用コンテストについて
2. 秋学期実習室用ソフトウェアについて
3. 413教室・メディアゾーンPC入れ替えについて
4. 大学院からの要望について

報告事項

1. 2006年度予算執行について
2. メディア教育開発室の内規について

◇第2回 9月8日

1. 点検評価報告書（情報メディアセンター）について
2. 実習室ソフトウェア導入について
3. 講習会・勉強会開催について
4. 実習室での飲料の扱いについて

報告事項

1. 夏季休暇中作業の進捗について

2. 情報メディアセンター主催行事

◆名古屋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
4月7日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	5人
4月10日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	0人
4月17日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	15人
4月21日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	15人
4月24日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	15人
4月27日(木)	e-learning講座受講ガイド	E202	15人
4月28日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	15人
5月1日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	14人
5月8日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	14人
5月12日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	12人
5月15日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	8人
5月19日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	7人
5月22日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	5人
5月26日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	2人
5月29日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	3人
6月5日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	2人
6月16日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	8人
6月19日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	14人
6月30日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	8人
7月3日(月)	e-learning講座受講ガイド	E202	12人
7月4日(火)	e-learning講座受講ガイド	E201	2人
7月5日(水)	e-learning講座受講ガイド	E202	0人
7月6日(木)	e-learning講座受講ガイド	E202	6人
7月7日(金)	e-learning講座受講ガイド	E202	13人

◆豊橋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
4月27日(木)	電子メール講習会	413	3人
5月10日(水)	電子メール講習会	413	6人
5月18日(木)	電子メール講習会	413	6人
5月26日(金)	電子メール講習会	413	4人
6月2日(金)	電子メール講習会	413	3人

6月16日(金)	電子メール講習会	413	2人
6月26日(月)	無線LAN講習会	413	2人
6月30日(金)	電子メール講習会	413	5人
7月7日(金)	無線LAN講習会	413	1人
7月11日(火)	無線LAN講習会	413	0人

◆車道校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
4月13日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	1人
4月20日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	2人
4月27日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	0人
4月27日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	0人
5月11日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	0人
5月18日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	0人
5月25日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	2人
6月8日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	2人
6月22日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	1人
7月6日(木)	e-Learning講座受講ガイド	K804	2人

メディア教育開発室主催 教員向け講習会
e-Learning 実践研究会

今年度から名古屋校舎で約 800 名を対象に実施されている e-Learning システムの事例紹介及び、LMS(Learning Management System) 運用上の長所短所について議論した。

今回は、関西大学工学部で開発された CEAS とオーストラリアのカーティン工科大学の Moodle について実際に利用しながら比較検討を行った。

- 日 時 2006 年 11 月 16 日(木) 14:00～15:30
- 場 所 豊橋校舎 4 号館 413 教室
- 内 容 14:00～14:30 名古屋校舎における e-Learning の利用例
—情報リテラシー科目における Internet Navigware の利用—
講師：非常勤講師 谷口 正明氏
- 14:30～15:15 オープンソースの LMS 利用例
CEAS、Moodle を実際に利用
- 15:15～15:30 シンクライアントシステム紹介
画像配信システム利用法
- 参加者 教員 4 名、職員 2 名

第2回 豊橋情報メディアセンター主催 情報活用コンテスト

2006年度は、情報活用コンテストも第2回目となり、昨年度より多数の応募があり、技術の向上が見られた。

また、大賞を受賞した豊橋情報メディアセンターイメージキャラクターの作品が、今後豊橋情報メディアセンターのキャラクターとして用いられることとなった。

開催概要

募集期間 2006年9月1日から2006年9月30日

参加資格 愛知大学学部生・短期大学部生・及び大学院生
(名古屋校舎、車道校舎の学生も応募可能)

応募部門 1) Web ページ
2) プログラミング(VBA、Java など)
3) ロゴ(愛知大学、学部、ゼミなど)
4) 携帯電話を使った動画作成(1分以内)
5) 豊橋情報メディアセンターイメージキャラクター

応募総数 1) Web ページ 3名
2) プログラミング 5名
3) ロゴ 10名
4) 動画作成 4組
5) キャラクター 2名

受賞者

大賞	キャラクター部門	小川舞子(経営学部4年)
部門賞	Web ページ	村橋卓也(文学部3年)
	プログラミング部門	小澤 優(経営学部4年)
	プログラミング部門	森月健吾(経済学部3年)
	ロゴ部門	渡辺香織(文学部4年)
	動画部門	安藤弘高(文学部3年)
奨励賞	動画部門	山田芽実(短期大学部2年)

＜名古屋校舎＞第2回プレゼンテーションコンテスト

1. コンテスト名称 : プレゼンテーションコンテスト
2. コンテスト概要 : 本コンテストは、Web ページや Web プログラミング、CG などの情報公開ツールを駆使し、プレゼンテーション技術を競う。情報公開ツールを使いこなす技術や、効果的な表現法・アイデア力、および発表能力を互いに競い合うことにより、学生の情報技術向上を図る。
3. 開催日 : 2006 年 12 月 9 日(土) 13:00～
4. 開催場所 : 車道校舎 コンベンションホール
5. 発表者

No.	代表者	学部	共同発表者	発表テーマ
1	中村 宇志	経営学部		僕の見たメキシコ
2	山本 勝巳	現代中国学部	原田 沙季	半径5mの日中関係
3	豊田 沙央里	経営学部	森 有香・岡田 有平	坂東ゼミ ISO 班 PR ビデオ
4	沈 軍	現代中国学部		リンゴ梨 中国朝鮮族
5	中村 季誉	法学部		身近な法律探検隊
6	熊澤 徳人	経営学部		インターネットの危険
7	羽廣 本	経営学部	前川 優幸	教科書リサイクル
8	倉地 雅也	経営学部	川瀬 亜矢・鶴飼 啓太	大学での環境への取り組み
9	柴田 賢吉	現代中国学部	清田 聡子	中国における環境保護宣伝

6. 審査

- ・ 審査員 : 8名
 (教員)中尾浩(情報メディアセンター所長)、龍昌治(情報メディアセンター副所長)、浅野俊夫(文学部)
 岩田員典(経営学部)
 (職員)近藤車道教学課長、中村情報企画課長、宮部情報企画課係長、(特別参加)榊原 孝
- ・ 審査方法
 審査基準を以下のとおりとし、総計により順位を確定し、受賞者を決定した。

＜審査基準＞

審査項目:5点 (内容、構成力、主張性、IT 技術、表現力)

採点基準:各項目 5 点満点 総計 25 点

(5 点:大変よい、4 点:よい、3 点:普通、2 点:あまりよろしくない、1 点:よろしくない、0 点:採点対象外)

審査結果

賞名	発表テーマ	受賞者		
		代表者	学部学科	共同発表者
最優秀賞	半径5mの日中関係	山本 勝巳	現代中国学部	原田 沙季
優秀賞	リンゴ梨 中国朝鮮族	沈 軍	現代中国学部	
審査員特別賞	教科書リサイクル	羽廣 本	経営学部	前川 優幸

3. 情報メディアセンター運営会議構成員

情報メディアセンター運営委員 (2007年1月26日現在)

役職名		所 属	身 分	氏 名
所 長		法 学 部	助教授	中尾 浩
副 所 長		短期大学部	助教授	龍 昌治
委員	豊橋センター運営委員	文 学 部	教 授	浅野 俊夫
		経 済 学 部	教 授	蔣 湧
		経 済 学 部	助教授	湯川 治敏
	名古屋センター運営委員	経 営 学 部	助教授	岩田 員典
		法 学 部	教 授	太田 明
		現代中国学部	教 授	土橋 喜

情報メディアセンター事務室

情 報 企 画 課	課 長	中村 直美
	係 長	宮部 浩之
	S E	小野 秀之
		宮坂 昌樹
豊 橋情報メディアセンター	係 長	三浦 文博
	S E	石原 有希子
名古屋情報メディアセンター	係 長	秦 俊一郎

編集後記

数年前に中学や高校で情報科目が必修になり、大学で情報科目を担当する教員は、少なからず期待するものがあつたと思います。情報科目が必修になったとは言え、昨年末に全国で大学受験準備のために必修逃れが発覚し、そのなかに情報科目も含まれていたことがマスコミで報じられました。このことで情報処理学会は文科省に対して善処していただくように要望しました。

10年前と比べるとパソコンが一般家庭に普及したこともあって、タイピングができないような学生はほとんど見かけなくなりました。しかし実習室でパソコンを使った授業を担当しておりますと、いまだ情報リテラシーの大事さを痛感します。情報科目の学習状況は高校によって大きな差があり、新入生の大多数は情報リテラシーが使えるレベルまで理解されていない状況ではないかと危惧しています。

今後も情報教育だけでなく、情報技術、情報化社会、情報産業などに関する幅広い投稿をお願いいたします。

なお、編集委員会ではより優れた紀要の発行を目標に、「原稿募集要項」および「執筆要項」の見直しと改訂を行いました。次号からは今号に記載された「原稿募集要項」と「執筆要項」が適用されますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。

(K. D)

愛知大学情報メディアセンター紀要<COM> 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要<COM>は、年2回発行され、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員の推薦があるものに限る）
- (4) 編集委員会が認めたもの

2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に係る内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

3. 投稿原稿の種類

投稿された原稿は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。

- (1) 論文 [10～16]
- (2) 研究ノート [6～8]
- (3) ソフトウェアレビュー [6～8]
- (4) 情報教育フロンティア [6～8]
- (5) 書評（新刊・古典） [1]
- (6) 学会動向 [1]

※ []内はページ数の目安。

※ 原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、プリントアウトしたものと電子ファイルの双方を提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。図版等のファイル形式は jpeg とする。
- (5) 使用ソフトは Microsoft Word または PDF 形式 が望ましい。
- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。
- (7) 著者は連絡先（グラ等の送付先）の住所、電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

5. 投稿原稿の体裁
別紙「愛知大学情報メディアセンター紀要<COM> 執筆要項」を参照のこと。
6. 校正
 - (1) 校正は著者校正を2回とする。
 - (2) 校正段階での内容の変更は、総ページ数を変更しない範囲で行なうこと。
7. 著作権
 - (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
 - (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮すること。
 - (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
 - (4) 著作人格権は著者に属する。
 - (5) 本誌への掲載が確定した原稿は、愛知大学情報メディアセンターホームページにて公開するものとする。
8. その他
 - (1) 別刷りは論文ごとに各30部作成し、著者代表者に無料で進呈する。
 - (2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ : 愛知大学情報企画課
TEL: 052-937-8120(内線 3101)
FAX: 052-937-8121
E-mail : johokikaku@aichi-u.ac.jp

(別紙)

愛知大学情報メディアセンター紀要<COM> 執筆要項

1. 用紙サイズ

B5判を使用し、横書きとする。

2. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

3. 余白と段組および字数・行数

(1) 余白は上下 25mm、左右 20mm とする。

(2) 本文のヘッダー（タイトル、著者氏名、要約）については一段組とし、本文以降については二段組、横 38 字縦 32 行とする。

(3) 文字サイズはタイトルは 12 ポイント、要約とキーワードは 9 ポイント、本文は 10 ポイント とする。

(4) 字体は、日本語は明朝体、英語は Century とする。数字は半角（Century）を用いることとする。

4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章、節、項、目などの立て方は、原則として、以下のとおりとする。

1. 章タイトル（前後一行をあける）

1.1 節タイトル（前後一行をあける）

1.1.1 項タイトル（前一行をあける）

(1) 目タイトル

また、セクションタイトルおよびセクション記号は太字で強調すること。

5. 図・表・写真

図・表・写真は、本文中の適当な箇所に挿入すること。

ただし、COM 編集委員会にて挿入位置、サイズを変更する場合がある。

(1) 表について

表の上部に「表○：表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

(2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○：図名」（○は図の一連番号）または「写真○：写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

6. 要約とキーワード

論文と研究ノートには要約とキーワードをつける。要約は 400 字以内（200

words 以内) で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。
キーワードは国立情報学研究所の cinii 等への正確な登録のために、5～7
語程度のキーワードをつける。

7. 注・文献

注・文献の記載は、本文の後に1行空けてから「注・文献」という見出しを立て
(10ポイントの太字)、その次の行から、注と文献とを一括して記載すること。

以上

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕
Vol. 17 No.2 第31号

2007年3月25日 印刷

2007年3月31日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター
「COM」編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 愛知県西加茂郡三好町黒笹370
〒470-0296 TEL (0561) 36-1117 (直通)
FAX (0561) 36-2781

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1
〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)
FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井2丁目10-31
〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (情報企画課直通)
FAX (052) 937-8121

印刷 有限会社 三星印刷
